

## 2024年12月度 J.フロント リテイリング 百貨店事業 売上速報

※当社は2017年度から国際会計基準（IFRS）を任意適用しています。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、IFRS売上収益のうち消化仕入取引を総額に置き換えた総額売上高で開示します。

※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。

※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、IFRSの確定値により毎月中旬に開示します。

### ■ 店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗	12月度	下期累計	店舗	12月度	下期累計
大丸 心齋橋店	15.2	8.3	松坂屋 名古屋店	1.7	1.2
大丸 梅田店	10.1	10.2	松坂屋 上野店	7.5	8.7
大丸 東京店	6.7	6.0	松坂屋 静岡店	0.9	7.5
大丸 京都店	3.5	2.2	松坂屋 高槻店	1.2	0.6
大丸 神戸店	4.6	5.4	店 計	6.9	5.7
大丸 須磨店	▲1.6	▲0.3	法人・本社等	40.8	18.1
大丸 芦屋店	▲1.4	▲0.9	大丸松坂屋百貨店合計	7.8	6.1
大丸 札幌店	13.6	10.8	博多大丸	5.0	8.2
大丸 下関店	▲3.7	▲5.9	高知大丸	1.7	▲0.1
			百貨店事業合計	7.5	6.2

### ■ 概 況

- ・ 12月度の売上高は、気温の低下に伴いコートが売上を伸ばしたほか、ラグジュアリーブランド、化粧品、時計がインバウンド需要を含め好調を持続し、おせちも単価アップにより好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年7.8%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同7.5%増となった。
- ・ 店舗別では、15店舗中12店舗が前年実績を上回った。外商顧客向け催事の売上が好調だった心齋橋店のほか、訪日外国人売上が好調な梅田店、札幌店が対前年2桁増となった。
- ・ 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高（速報値）は、対前年45.5%増（客数同50.1%増、客単価同▲3.1%減）となった。

【参考】 12月度の大丸松坂屋百貨店の店計売上（法人・本社等の本年・前年実績を除く）は対前年6.9%増、

うち国内売上高（免税売上高の本年・前年実績を除く）は対前年2.6%増となった。

大丸松坂屋百貨店合計（既存店）の免税売上高は対19年度103.6%増、対18年度115.5%増であった。

- ・ 本年の初売りは、例年より1日遅い1月3日からのスタートとなったが、3日間計（本年1月3日～5日累計売上と前年1月2日～4日累計売上の比較）で対前年19.7%増（法人・本社等を除く）で推移している。

お問い合わせ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートコミュニケーション室
	IR推進担当	03-6865-7621
	グループ広報担当	03-6865-7616